保証書

コーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書·本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	EC-NA40
※お客様 お名前	☎
※お客様 ご住所	〒
※お買い上げ日　年　月　日	※販売店名・住所
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**	☎

修理メモ

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1.ご転居·ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りや不当な修理·改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送·移動·落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災·地震·水害·落雷·その他の天災地変、公害·塩害·虫害·ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧·指定外の使用電源（電圧·周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）車両·船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日·お客様名·販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
（チ）消耗品などの交換。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.本書は盗難·火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間·条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

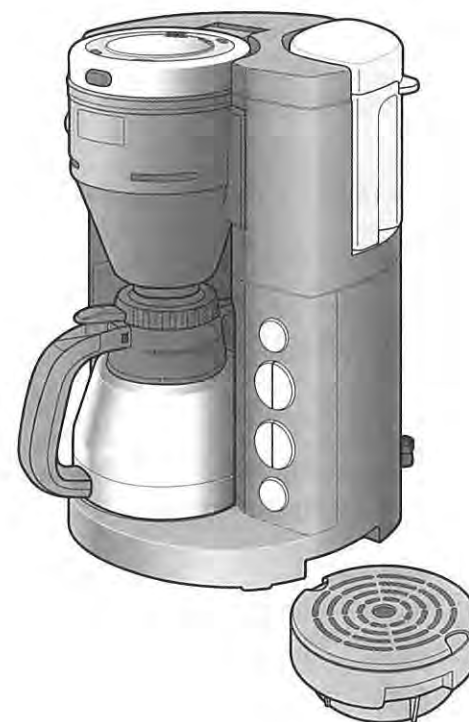
象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2451

愛情点検　**長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！**

こんな症状はありませんか
●ご使用中、コード·差込みプラグが異常に熱くなる
●焦げくさいにおいがする
●製品の一部に割れ·がたつき·緩みがある
●その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

家庭用

コーヒーメーカー
珈琲通®
型名 EC-NA40 型
取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

お使いになるまえに
安全上のご注意 ··············· 2
各部のなまえ ················ 4
各部のつけ方·はずし方 ········· 6
使い方
使い方 ··················· 9
お手入れ
お手入れ ·················· 16
クエン酸洗浄のしかた ·········· 19
困ったときに
故障かなと思ったとき ········· 20
部品の交換·購入について ······· 22
仕様 ···················· 22
アフターサービス ············ 23
お客様ご相談窓口 ············ 23
保証書 ················· 裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警　告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水に浸けたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電・けがの恐れがあります。

接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの恐れがあります。
特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

ステンレスサーバーや容器・カップなしで使わない
やけどの恐れがあります。

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
コンセント
差込みプラグ
コード

禁止

コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

差込みプラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

差込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく
火災の原因になります。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。

<異常・故障例>
- ●コードや差込みプラグが異常に熱くなる
- ●コードに深い傷や変形がある
- ●焦げくさいにおいがする
- ●製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ●スイッチを入れても動かない
- ●本体から水漏れする
- ●蒸気口以外の場所から水や蒸気が漏れる
- ●本体が変形したり、異常に熱くなる

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠注　意

接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部(シャワードーム・ミルケースふた・スイングバスケットなど)に手を触れない
やけど・けがの恐れがあります。

禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない 火災の原因になります。

ドリップ中にステンレスサーバーや容器・カップをはずさない やけどの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

ステンレスサーバーや容器・カップを載せたまま本体を動かさない
やけど・けがの恐れがあります。

火気の近くで使用しない 火災の原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

本体の刃は鋭利なため、手を入れたり触れたりしない
コーヒー豆やコーヒー粉を取り除くときは、必ず付属のブラシを使用する
けがの恐れがあります。

お願い

■本体・ステンレスサーバーを電子レンジで使用したり、直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器などの上に載せない
発煙・発火・とっ手の変形・金属部から火花が飛び散る原因になります。

■水タンクに水以外のものを入れない
牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■続けてコーヒーを作る場合は、5分以上待つ
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、蒸気口から突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

■水にぬれた場所で使用しない 感電の恐れがあります。

■ステンレスサーバーは、落としたり、固いものにぶつけたりしない
樹脂部分が破損したり、ステンレスサーバー表面がへこみ、保温性能が低下することがあります。

■ミルケースにコーヒー豆以外のものを入れない
故障の原因になります。

■空だきはしない
水タンクに水を入れずに通電すると、故障の原因になります。

■ステンレスサーバーはコーヒーを作ること以外の目的で使用しない。特に次のものは絶対に入れない
- **●みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**
  ステンレスサーバー内側は18-8ステンレスを使用していますが、さびたり、保温力が低下する原因になります。
- **●牛乳・乳飲料・果汁など** 成分が腐敗することがあります。
- **●果肉・お茶の葉** 詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

■持ち手以外を持って本体を持ち運ばない

■ステンレスサーバーを倒したり、レバーを押したまま持ち運びしない
内容物が漏れて、やけどの恐れがあります。

■ステンレスサーバーを水に浸さない
すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

■使い終わったら、必ず差込みプラグをコンセントから抜く
長時間通電を繰り返しされると故障の原因となり、異常加熱や発煙する場合があります。

■ステンレスサーバー外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。
底シール

■使用中にミルケースふたやスイングバスケットを開けない やけどの恐れがあります。

■ドリップ直後にペーパーフィルターを直接触らない
やけどの恐れがあります。

■受皿やトレーをはずして使用しない
やけどの恐れがあります。

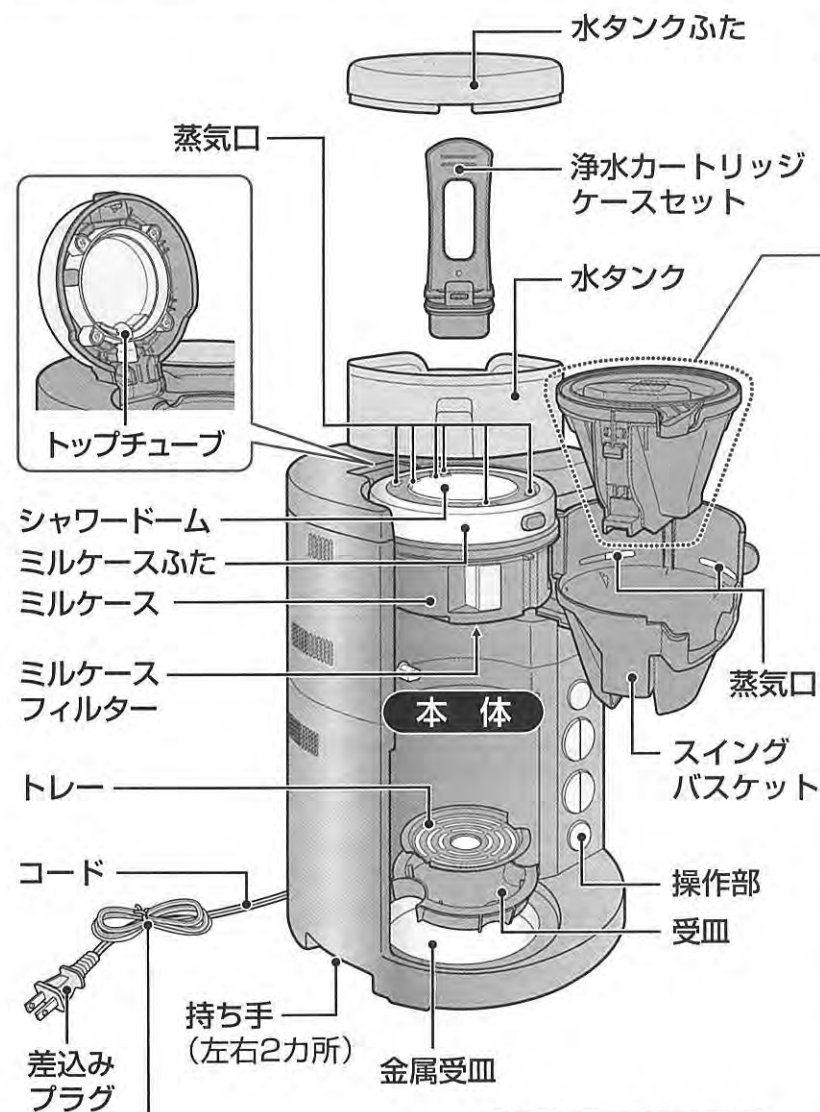
■使用中に水タンクをはずさない

■屋外で使用しない 故障の原因になります。

■テーブルなどからはみ出した状態で使用しない
けが・やけどの恐れがあります。

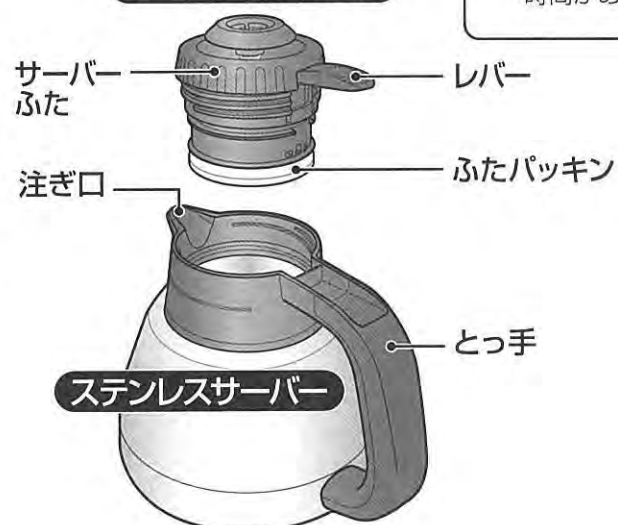
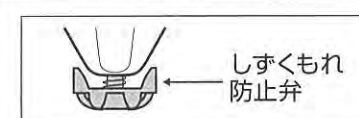
■使用中や使用後しばらくはスイングバスケットの下に手を入れない
湯沸かし中やミルケースふたの開閉などで湯が垂れて、やけどの恐れがあります。

■カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない
コーヒーが飛び散る恐れがあります。

各部のなまえ

水タンクふた
蒸気口
浄水カートリッジケースセット
水タンク
トップチューブ
シャワードーム
ミルケースふた
ミルケース
ミルケースフィルター
本 体
トレー
コード
蒸気口
スイングバスケット
操作部
受皿
持ち手（左右2カ所）
金属受皿
差込みプラグ
結束バンド

- 使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
- コードは束ねて使用しないでください。
（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

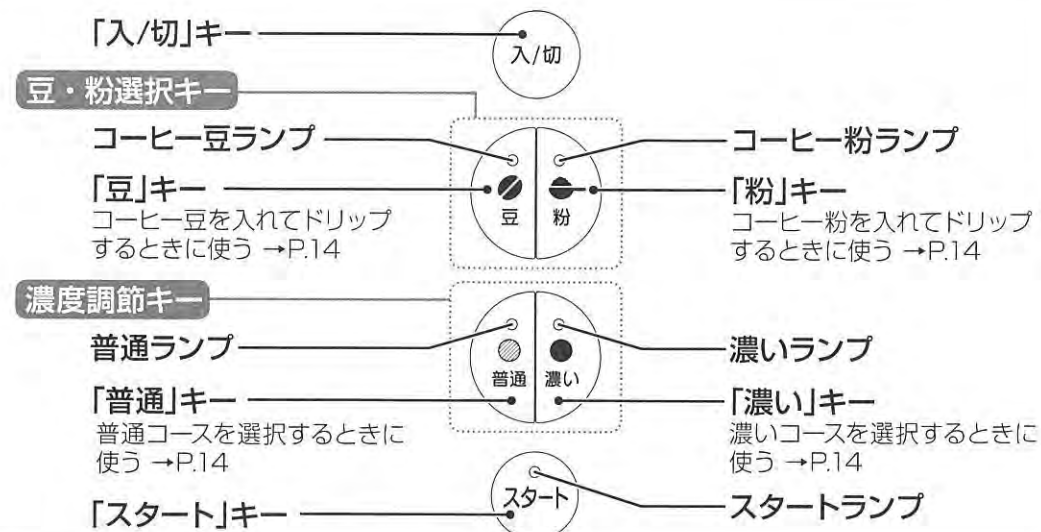
フィルターケースセット

フィルターケースふた
フィルターケース（速温ドリッパー）
しずくもれ防止弁
フィルターケースシタ（断熱ドリッパーカバー）
フィルターケースレバー

しずくもれ防止機構について

しずくもれ防止弁

コーヒーのしずくがフィルターケースから漏れないようにするしくみです。

- ドリップ中に自動でしずくもれ防止弁を閉じ、コーヒーの粉にお湯をしっかりと浸透させるため、コーヒーが出てこない時間があります。

サーバーふたセット

サーバーふた
レバー
ふたパッキン
注ぎ口
とっ手
ステンレスサーバー

付属品

- **計量スプーン**
（すりきり一杯で使用）
3/4 杯の目安
1/4 杯の目安
コーヒー豆・粉 すりきり 1 杯約 8g
［背面］ ミルケースブラシ

- **ミルケースブラシ**
お買い上げ時は計量スプーンに取りつけられています。

- **浄水カートリッジ（消耗品）**
お買い上げ時は浄水カートリッジに取りつけておりませんのでお使いになる前に取りつけてください。（→P.8）

- **ペーパーフィルター（2枚）**
ペーパーフィルターがなくなったときは、市販のサイズ（1×2）または（102）をお求めください。

折り方：①下を折る → ②横を折る → ③広げる

- ペーパーフィルターがフィルターケースからはみ出さないように折り幅を調節してください。

- **カップ用トレー**

- **カップ用受皿**

本体の持ち運び方

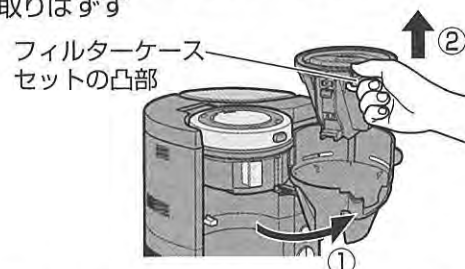
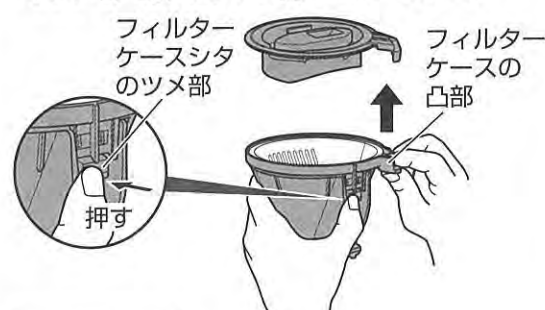
①スイングバスケット、水タンクをはずす
②持ち手（左右2カ所）を持って運ぶ

- 持ち運ぶときは、本体を傾けないでください。傾けると水がこぼれる場合があります。
- ミルケース、ミルケースふたは持たないでください。

各部のつけ方・はずし方

フィルターケースセット

はずし方

①スイングバスケットを開ける
②フィルターケースセットの凸部を持ち、取りはずす

③フィルターケースふたをはずし、フィルターケースの凸部を持ち、フィルターケースシタのツメ部を押しながら持ち上げてはずす

つけ方

①フィルターケースシタのツメ部にフィルターケースの穴を合わせて取りつける

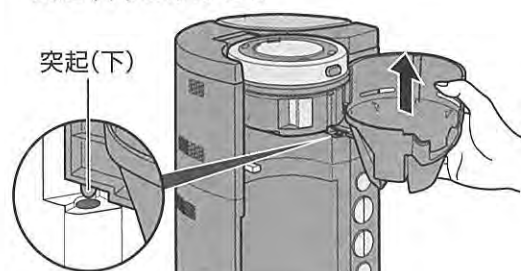
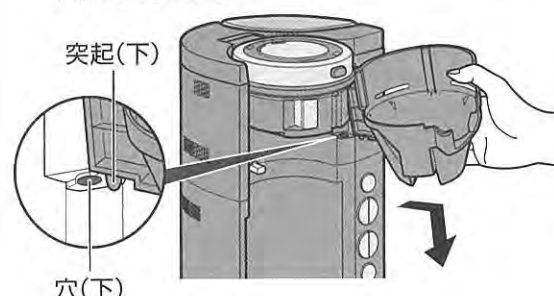
背面のツメ部も確実に合っていることを確認してください。

②フィルターケースふたの凸部をフィルターケースに合わせて取りつける

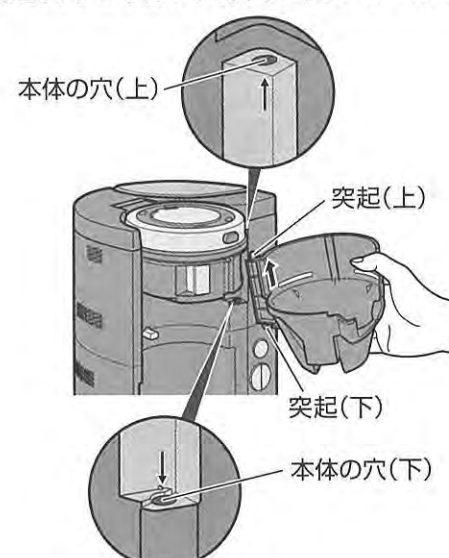
スイングバスケット

●ステンレスサーバー、フィルターケースセットを取りはずしてから行ってください。

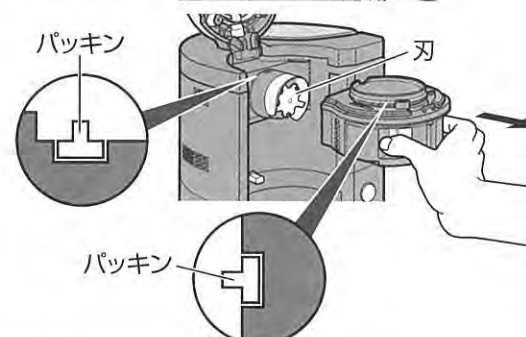
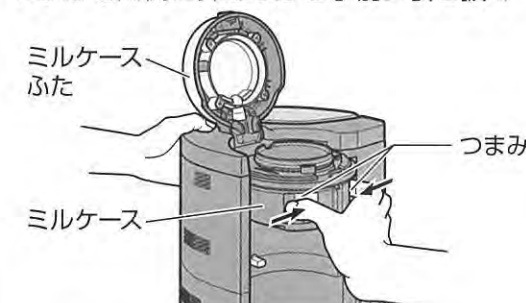
はずし方

①スイングバスケットを全開にし、持ち上げて突起(下)を浮かせる

②スイングバスケットを矢印の方向にずらして下方向にはずす

つけ方

突起(上)を本体の穴(上)に差し込んでから、突起(下)を本体の穴(下)に合わせてはめ込む

ミルケース

●ミルケースふたを開けてからミルケースをはずしてください。
ミルケースふたを開けないとミルケースははずせません。

はずし方

ミルケースふたを開けてミルケースの両側のつまみを内側に押しながら手前に引き抜く

パッキンがはずれたときは…

凸部が外側に見えるように取りつけてください。
●確実に取りつけられていることを確認してください。(蒸気漏れの原因)
●パッキンのねじれなどに注意してください。

お願い

刃に手を近づけたり、触れたりしないでください。

つけ方

ミルケースを持って「カチッ」と音がするまで押し込む

ミルケースフィルター

●ミルケースをはずしてからミルケースフィルターをはずしてください。

はずし方

中細挽きの場合

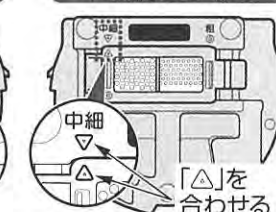
①つまみ(右側)を押さえながら持ち上げる
②右方向に引き抜く

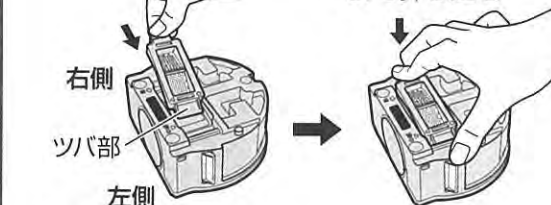
粗挽きの場合

①つまみ(左側)を押さえながら持ち上げる
②左方向に引き抜く

つけ方

お好みの挽き方になるように、ミルケースとミルケースフィルターの記号を合わせて取りつけてください。

粗挽きの場合 **中細挽きの場合**

中細挽きの場合

①ツバ部を左側に差し込む
②つまみ側(右側)を「カチッ」と音がするまで押し込む

粗挽きの場合

①ツバ部を右側に差し込む
②つまみ部(左側)を「カチッ」と音がするまで押し込む

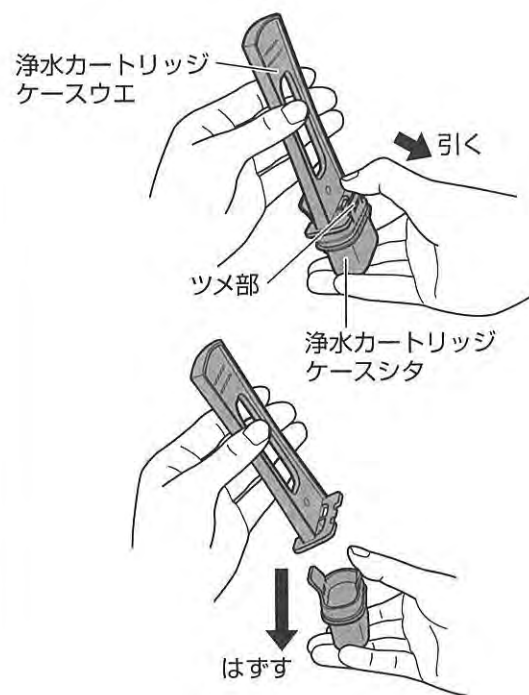
各部のつけ方・はずし方 つづき

浄水カートリッジケースセット

はずし方

①水タンクふたをはずす

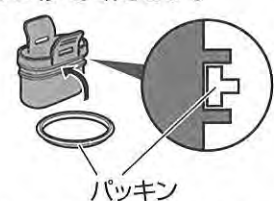
②浄水カートリッジケースセットをはずす

③浄水カートリッジケースシタのツメ部を引きながら取りはずす

つけ方

①浄水カートリッジを浄水カートリッジケースシタに入れる

②浄水カートリッジケースウエと浄水カートリッジケースシタを取りつける

パッキンがついていることを確認してください。

パッキンはみぞに合わせて取りつけてください。

●パッキンのねじれなどに注意してください。

③浄水カートリッジケースセットを水タンク凹部に奥までしっかり差し込む

④水タンクふたを閉める

使い方

●初めてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、浄水カートリッジケースセット・ステンレスサーバー・フィルターケースなどを洗ったあと、1~2 回水だけでドリップして本体内部を洗浄してください。

- この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- この製品はコーヒーを作るためのものです。**コーヒーを作ること以外には使わないでください。** 水以外のもの(牛乳・酒・コーヒー・湯など)を水タンクに入れると故障の原因になります。
- 使いはじめはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。また、黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

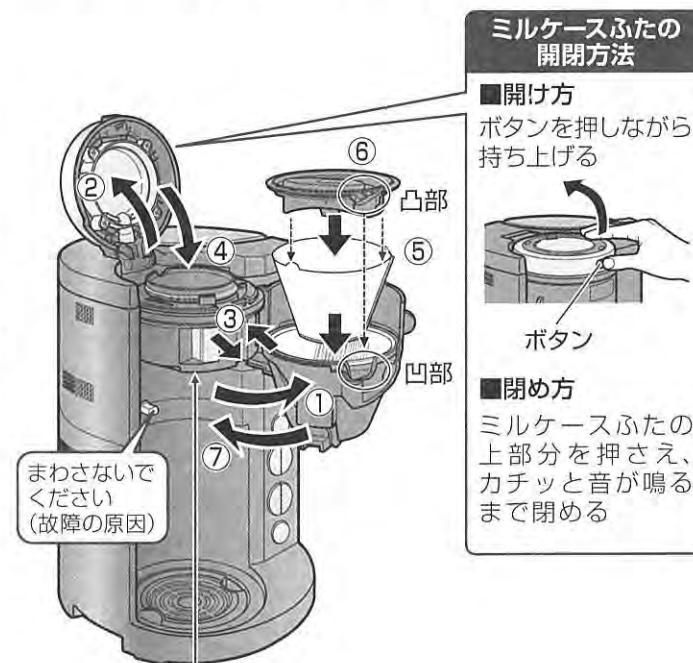
1 ミルケースフィルターとペーパーフィルターを取りつける

①スイングバスケットを開ける
②ミルケースふたを開ける
③ミルケースをはずしてミルケースフィルターを取りつけたあと、再度ミルケースを取りつける(→P.7)
④ミルケースふたを閉める
⑤フィルターケースふたを取りはずして、フィルターケースにペーパーフィルターを取りつける
(ペーパーフィルターの折り方→P.5)
⑥フィルターケースふたを取りつける
⑦スイングバスケットを閉める

●スイングバスケット開閉時は本体が倒れないように注意してください。
●ペーパーフィルターはしわにならないように取りつけてください。
●ペーパーフィルターなしでは使用しないでください。
(コーヒーがあふれる原因)

ミルケースふたの開閉方法

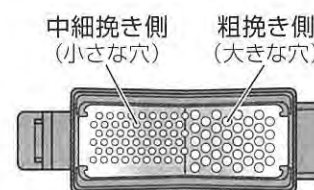
■開け方
ボタンを押しながら持ち上げる

■閉め方
ミルケースふたの上部分を押さえ、カチッと音が鳴るまで閉める

ミルケースフィルター

●取りつける方向により、「粗挽き」と「中細挽き」を切りかえることができます。
●挽き方を切りかえるにはミルケースとミルケースフィルターの刻印を同じ記号に合わせて取りつけます。
(つけ方・はずし方→P.7)
●お買い上げ時には「中細挽き」の方向に取りつけています。

刻印の記号

ミルケース	ミルケースフィルター	挽き方
粗 ◎	◎	▶ 粗挽き
中細 ▽	△	▶ 中細挽き

(お願い)
ミルケースフィルターは必ず取りつけてください。
(コーヒー豆が挽けない原因)

●コースの選択(普通/濃い)とミルケースフィルターの取りつける方向(粗挽き/中細挽き)の組み合わせでできあがるコーヒーの濃度を調節できます。

濃度調節一覧

濃度	ミルケースフィルター	コース
淡 ↓ 濃	粗挽き	普通
		濃い
	中細挽き	普通
		濃い

2 コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

コーヒー豆を入れる場合

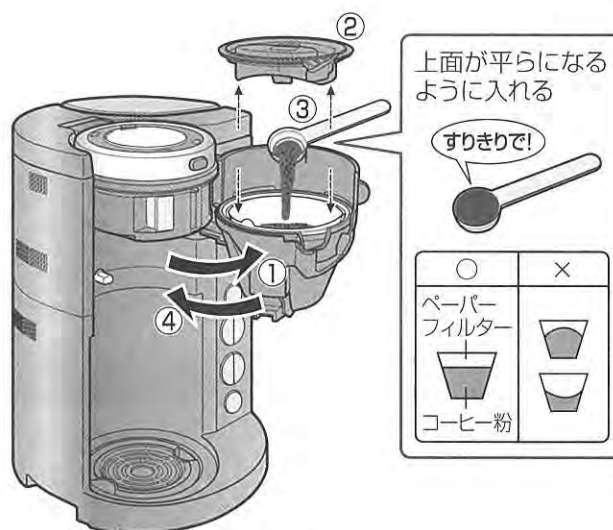
①ミルケースふたを開ける
②ミルケースにコーヒー豆を入れる
③ミルケースふたを閉める

ミルケース ふたの内側
ミルケース

- ●コーヒー豆を入れた後は、ミルケースフィルターをはずさないでください。
(ミルケースからコーヒー豆が落ちる原因)
- ●ミルケースふたの内側やミルケース・ミルケースフィルターがぬれている場合は、乾いた布でふき取ってください。
(コーヒー豆が付着してミルケース内に残る原因)
- ●湿ったコーヒー豆を入れないでください。
- ●ミルケースにはコーヒー豆以外を入れないでください。
(ドリップ時にミルケースからコーヒーがあふれたり、内部モーターの故障の原因)
- ●コーヒー豆の焙煎度合いによっては、ミルケースにコーヒー豆が残る場合があります。

コーヒー粉を入れる場合

①スイングバスケットを開ける
②フィルターケースふたを取りはずす
③ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる
④フィルターケースふたを取りつけ、スイングバスケットを閉める

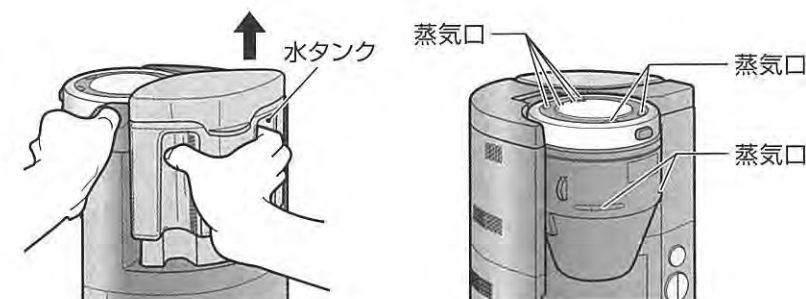
- **●ペーパーフィルターにはコーヒー粉以外を入れないでください。**
(ドリップ時にスイングバスケットからコーヒーがあふれたり、故障の原因)
- ●細挽き粉は使わないでください。
(ペーパーフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれる恐れがあります。)
- ●フィルターケースふたは確実に取りつけてください。

■コーヒー豆(粉)標準使用量　●2カップ以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。

容器	できあがり数		コーヒー豆(粉)量	
			ホットコーヒー	アイスコーヒー
ステンレスサーバー	コーヒーカップ	4カップ	3¾杯(約30g)	3¾杯(約30g)
		3カップ	3　杯(約24g)	3　杯(約24g)
		2カップ	2¼杯(約18g)	2¼杯(約18g)
		1カップ	1¼杯(約10g)	
	マグカップ	2カップ	3　杯(約24g)	
		1カップ	1¾杯(約14g)	
コーヒーカップ	1カップ		1¼杯(約10g)	
マグカップ	1カップ		1¾杯(約14g)	
マグボトル(360mL用)	1本		2¾杯(約22g)	

●計量スプーン3¾杯(約30g)を超える量を入れないでください。
(ミルケースふた周辺から湯が飛び散ったり、スイングバスケットからコーヒーがあふれたり、モーターが故障する原因になります。)

3 水タンクに水を入れる

①水タンクを本体からはずす

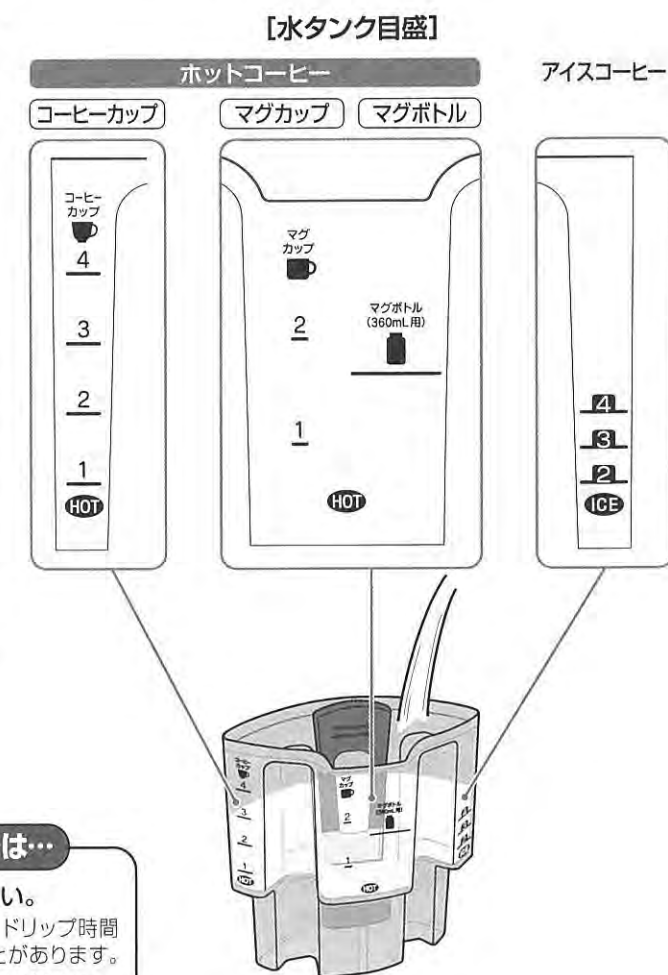
- ●本体を押さえながらはずしてください。
本体が持ち上がり、落下することがあります。
(蒸気口には手を触れないでください。)

②浄水カートリッジケースセットを正しく取りつけていることを確認する(→P.8)

③作るコーヒーの量の水タンク目盛まで水を入れ、水タンクふたを取りつける

故障や水漏れ、コーヒーがあふれる原因になるため、以下のことをお守りください。

- ●水タンク目盛の「HOT コーヒーカップ 4」を超える水を入れないでください。
- ●ドリップ中は水をつぎ足さないでください。
- ●水タンクに湯を入れないでください。
- ●水タンクを取りつけた状態で水を入れないでください。
- ●使用する容器(ステンレスサーバー・カップ・マグボトル)の容量を超える水を水タンクに入れないでください。
- ●浄水カートリッジケースセットは水タンクに水を入れる前に取りつけてください。
- ●2カップ以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。
- ●マグボトルの目盛を使用するときは360mL用のマグボトルを使用してください。

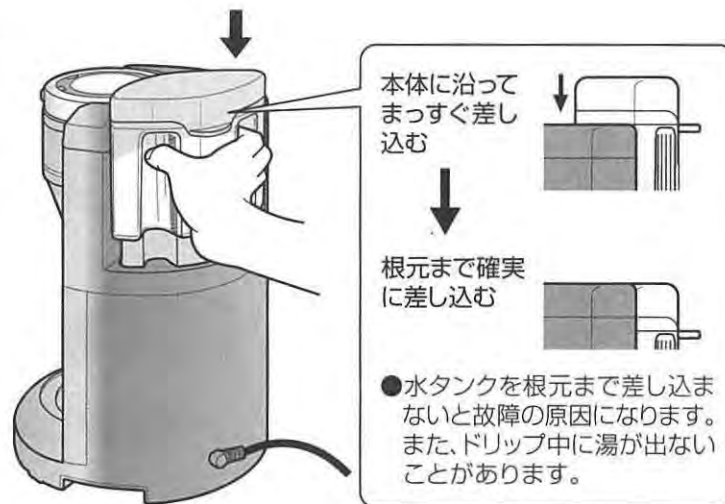
[水タンク目盛]

ホットコーヒー　アイスコーヒー
コーヒーカップ　マグカップ　マグボトル

ミネラルウォーターを使用するときは…

- **●硬度200以上のものは使用しないでください。**
製品内部の水管に湯アカ(ミネラル分)が付着して、ドリップ時間が長くなったり、最後までドリップできなくなることがあります。
- **●できるだけ硬度100以下のものを使用してください。**
- **●使用中にドリップ時間が長くなったときは、クエン酸洗浄を行ってください。**(→P.19)

4 水タンクを取りつける

水タンクを本体に沿って根元まで
しっかりと差し込む

●水タンクを根元まで差し込まないと故障の原因になります。また、ドリップ中に湯が出ないことがあります。

5 ステンレスサーバーまたはカップ・マグボトルを載せる

載せる前に受皿と金属受皿に水分がないことを確認してください。

熱いコーヒーがお好みの方は…
あらかじめステンレスサーバーまたはカップ・マグボトルを熱湯で温めてからご使用ください。

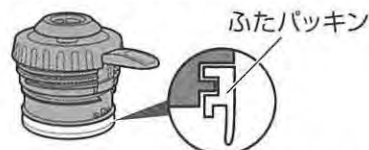
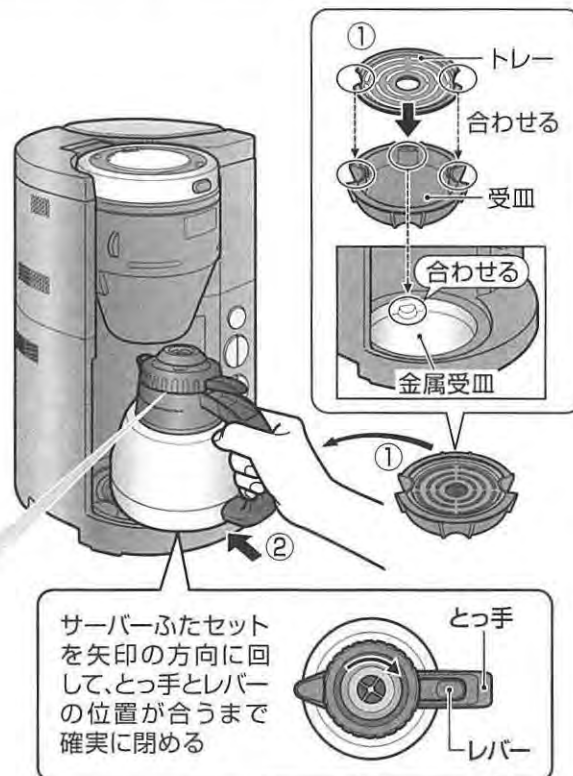
ステンレスサーバー使用時

①受皿にトレーを載せ、本体に取りつける
②ステンレスサーバーの中が空であることを確認してからサーバーふたセットを閉め、トレーに載せる

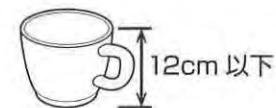
●トレーの表裏を逆にして取りつけないでください。
●ステンレスサーバーの中に湯やコーヒーが入っている状態でドリップを開始すると、ステンレスサーバーからコーヒーがあふれることがあります。

パッキンをはずしたり、はずれたときは下図のように取りつけてください。

●パッキンのねじれなどに注意してください。

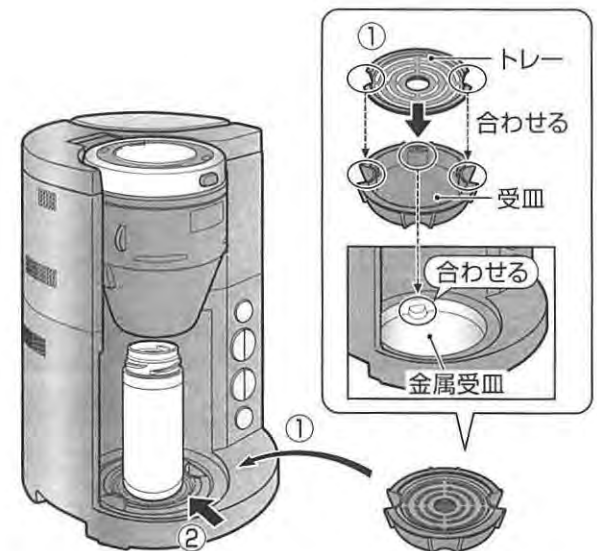
サーバーふたセットを矢印の方向に回して、とっ手とレバーの位置が合うまで確実に閉める

カップ（コーヒーカップまたはマグカップ）使用時

①カップ用受皿にカップ用トレーを載せ、本体に取りつける
②カップ（コーヒーカップまたはマグカップ）をカップ用トレーの中央に載せる

●受皿・トレーの上にカップ用受皿・カップ用トレーを載せないでください。
●カップ用トレーの表裏を逆にして取りつけないでください。
●コーヒーカップまたはマグカップはカップ用トレーの中央に載せてください。
●カップの容量を超える水を水タンクに入れるとコーヒーがあふれる恐れがあります。
●高さ12cm以下のカップが使用できます。

（お願い）
2カップ以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。

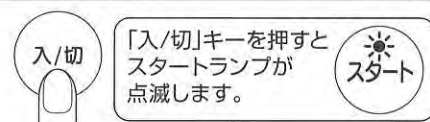
マグボトル使用時

①受皿にトレーを載せ、本体に取りつける
②マグボトルをトレーの中央に載せる

●トレーのみを本体に取りつけないでください。（必ず受皿にトレーを載せてください。）
●トレーの表裏を逆にして取りつけないでください。
●マグボトルはトレーの中央に載せてください。
●マグボトルの容量を超える水を水タンクに入れるとコーヒーがあふれる恐れがあります。（360mL未満のマグボトル使用時は特に注意してください。）
●以下のサイズのマグボトルが使用できます。
•ボトル底部の外径がφ7cm 以下
•ふたをはずしたときの高さが16.8cm以下
•口径φ3cm以上

6 差込みプラグをコンセントに差し込み、コースを選んでスタートする

①差込みプラグを差し込む

②「入/切」キーを押す

「入/切」キーを押すとスタートランプが点滅します。

③「豆」または「粉」キーを押す

●「豆」キーと「粉」キーを間違えないように注意してください。

「豆」キーを押すとコーヒー豆ランプが点灯します。

「粉」キーを押すとコーヒー粉ランプが点灯します。

④「普通」または「濃い」キーを押す

「普通」キーを押すと普通ランプが点灯します。

「濃い」キーを押すと濃いランプが点灯します。

⑤「スタート」キーを押す

「スタート」キーを押すとスタートランプが点滅から点灯にかわります。

●「スタート」キーを押さずに約10分経過すると自動的に電源が切れます。
●コーヒー豆の挽き始めは大きな音がします。
●コーヒー豆を挽き終えたあと、しばらくすると再度ミルが回転します。(洗浄のためで、異常ではありません。)

できあがり時間の目安
(水温20℃、室温20℃、コーヒー豆を使用した場合)

カップ数	1	2	3	4
コーヒーカップ	4分	5.5分	6.5分	8分
マグカップ	4.5分	6.5分	—	—
マグボトル(360mL用)	6分	—	—	—

●できあがり時間は、水量・室温・コーヒー豆の量などでかわります。
●コーヒー粉の時は約1分短くなります。

「豆」キーと「粉」キーを間違えて押したときは…

コーヒー豆を使用するときに「粉」キーを押した場合

「入/切」キーを押したあと、「使い方6-②」からやり直してください。
(ドリップによりコーヒー豆がぬれているときは、新しいコーヒー豆で「使い方1」からやり直してください。(→P.9))

コーヒー粉を使用するときに「豆」キーを押した場合

運転が停止します。
(ブザーが鳴り、コーヒー豆ランプが点滅します。)
→「入/切」キーを押したあと、「使い方6-②」からやり直してください。

途中で止めるときは…

①「入/切」キーを押す
②本体が冷めてフィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなったことを確認したあと、ステンレスサーバー(またはカップ・マグボトル)とフィルターケースセットを取り出す
③フィルターケースレバーを押してフィルターケースにたまったコーヒーを捨てる

④水タンクをはずし、残っている水を捨てる

●フィルターケース内にコーヒーがたまっている状態でバスケットを開くとこぼれる恐れがあります。
●コーヒーを捨てるときはやけどに注意してください。
●水タンクをはずしたときに水タンクから水が垂れることがあります。
●止めた時点からの再開はできません。
もう一度ご使用のときは「使い方1」からやり直してください。(→P.9)

7 ブザーが鳴ればドリップが完了

ドリップが完了すると自動的に電源が切れます。
(すべてのランプが消灯し、ブザーでお知らせします。)

ステンレスサーバー使用時

ステンレスサーバーを取り出し、サーバーふたのレバーを押しながらカップに注ぐ

●ステンレスサーバーを傾けたときに、注ぎ口やサーバーふたの穴から少量のコーヒーが漏れることがあります。
●以下のようなときはコーヒーが漏れることがありますのでご注意ください。
- 注ぐときに必要以上に傾ける
- 持ち運ぶときに傾けたり、横抱きする
- 転倒させる

お願い
●コーヒーを注いだあとは、レバーを押したままステンレスサーバーを水平に戻し、レバーから指を離してください。
●使用後は差込みプラグを抜いてください。

ステンレスサーバーでコーヒーを保温するときは…

●サーバーふたセットを確実に閉めてください。
●ステンレスサーバーはまほうびん構造になっていますが、コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
●少量のときや室温が低いときは、ステンレスサーバーにコーヒーの熱が取られ、コーヒーの温度が低くなります。
●長時間保温すると香りがぬけて風味が悪くなりますので、早めにお召し上がりください。

ドリップ後は…

スイングバスケットを開けて本体からフィルターケースセットをはずし、ドリップ済みのペーパーフィルターを取り出してください。

●金属部分や、湯を含んだペーパーフィルターは熱くなっていますのでやけどに注意してください。
●フィルターケース内にコーヒーがたまっている場合はフィルターケースレバーを押してコーヒーを捨ててください。

連続してコーヒーを作るときは…

●本体を5分以上冷ましてから「使い方1」より行ってください。(→P.9)
●ドリップ完了後、約5分間は連続運転できないようになっています。
●本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。
●ミルケースふたの内側、ミルケース・ミルケースフィルターの水分をふき取ってください。
(コーヒー豆を使うときのみ)

アイスコーヒーの作り方

アイスコーヒーを作るときは、ステンレスサーバーを使用してください。

準備するもの
●アイスコーヒー用コーヒー豆またはコーヒー粉
●氷

作り方
①「使い方1〜6」と同じ手順でコーヒーを作ります。
●ステンレスサーバーは予熱しないでください。
●水量は水タンクのICEの目盛に合わせてください。
②サーバーふたセットをはずし、ステンレスサーバーに氷を入れてかき混ぜながら冷やします。
③サーバーふたセットを閉めて、レバーを押しながらコーヒーを注ぎます。

●ステンレスサーバーにあらかじめ氷を入れてコーヒーを作らないでください。
(コーヒーがあふれ、やけどの恐れがあります。)
●アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。
●氷を入れたあとのコーヒーの液面は、図の位置までにしてください。氷を入れすぎるとコーヒーがあふれることがあります。

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、
本体が冷めてからお手入れしてください。

- ●本体・コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。(感電・故障の原因)
- ●食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用しないでください。(部品変形の原因)
- ●熱湯は使用しないでください。(変形や割れの原因)
- ●次のものは使用しないでください。
  - •台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
  - •みがき粉、ナイロンたわし、ブラシ、金属製のもの、メラミンスポンジ、スポンジのナイロン面、研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
- ●化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)

本　体

①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る
②水で絞った柔らかい布でよくふく
③乾いた柔らかい布で水分をふき取る

- ●金属受皿にコーヒーがたまっているときは、持ち手を持ち、本体を傾けて捨ててください。
（スイングバスケット・水タンク・ステンレスサーバー・受皿/トレー・カップ用受皿/カップ用トレーなどは取りはずしてください。）
- ●コーヒーを捨てるときはやけどに注意してください。
- ●金属受皿にコーヒーの滴が残っているときは、よくふき取ってください。

ミルケース

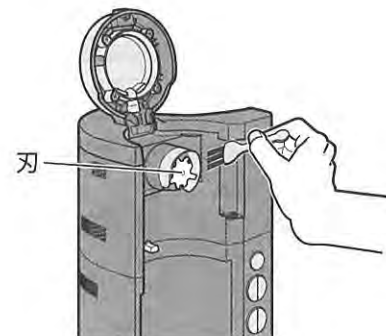
①ミルケースを取りはずす
（はずし方→P.7）
②水で洗い流したあと、よく乾燥させる

ミルケースフィルター

①ミルケースフィルターを取りはずす
（はずし方→P.7）
②やわらかいスポンジで洗う

本体（刃部）

刃の部分は棒などで回しながら付属のブラシでコーヒー豆やコーヒー粉を取り除いてください。
（刃は鋭利なため、手を入れたり触れたりしないでください。）

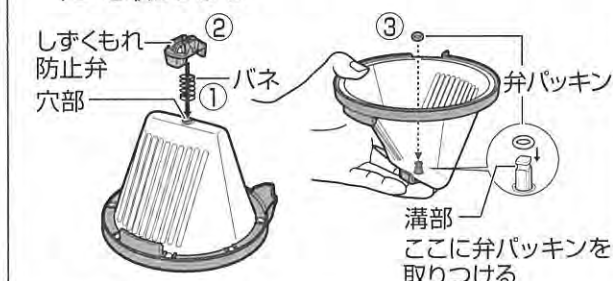
- ●付属のブラシで刃を回さないでください。

フィルターケース

①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
②水洗いする
③フィルターケースに水を入れ、しずくもれ防止弁を2～3回動かし、汚れを洗い流す
④乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

- ●しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると弁が閉まらずにコーヒーが漏れることがありますので、毎回洗ってください。
- ●十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。
- ●しずくもれ防止弁は引っ張ったり、無理に回すとはずれることがありますので注意してください。
- ●フィルターケースを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

しずくもれ防止弁

- ●しずくもれ防止弁は分解しないでください。
部品がはずれたときは下記の通りに正しく取りつけてください。

①フィルターケースにバネを載せる
②しずくもれ防止弁をバネ、フィルターケース穴部に通して入れる
③しずくもれ防止弁を押さえた状態で溝部に弁パッキンを取りつける

弁パッキンが確実に取りつけられていることを確認してください。
歪んだり、はまっていないと水漏れの原因になります。

○	正しく取りつけた状態	
×	すきまなどから水漏れします。	歪んでいる
		はまっていない

水タンク・水タンクふた・スイングバスケット・フィルターケースふた・フィルターケースシタ・受皿/トレー・カップ用受皿/カップ用トレー

①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
②水洗いする
③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

- ●スイングバスケット・フィルターケースシタは、十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。
- ●フィルターケースふたのスペーサーは取りはずさないでください。

浄水カートリッジ

水で洗い流したあと、よく乾燥させる

- ●浄水カートリッジは消耗品です。交換時期の目安は、水質や使い方により異なりますが約2年です。(1日1回使用した場合)
- ●洗剤は使わないでください。

ステンレスサーバー（外側）

①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
②水洗い後、数回振る
③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

- ●ステンレスサーバーを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布でふく

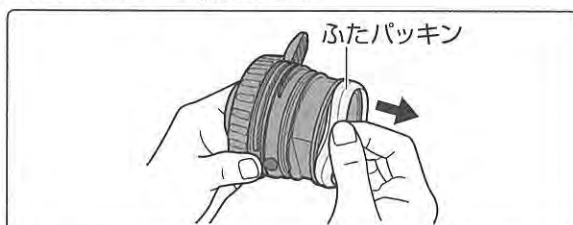
お手入れ つづき

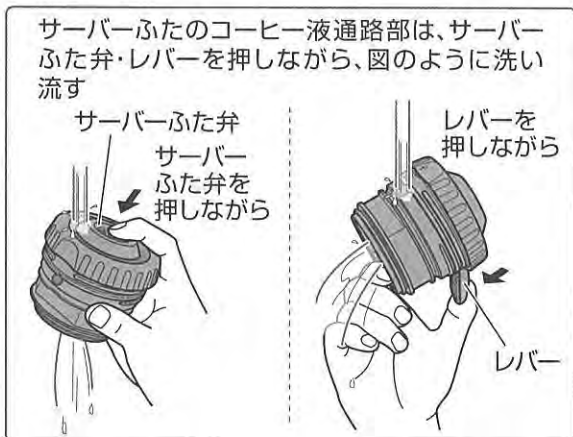
ステンレスサーバー（内側）

①薄めた台所用中性洗剤を含ませた柄のついたスポンジブラシなどで、きれいに内面を洗う
②水洗いし、乾燥させる
●常にお手入れをしていただきますと、においを防ぎ清潔にお使いいただけます。

ステンレスサーバーの汚れについて
ステンレスサーバー内側にこびりついたコーヒーの汚れには、「象印ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル 」をご使用ください。（別売品→P.22）
●ピカボトルはステンレスサーバー以外には使用しないでください。
●お手入れのときは、サーバーふたセットをステンレスサーバーからはずしてください。

サーバーふたセット

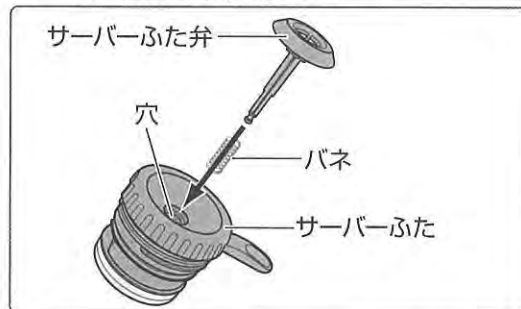
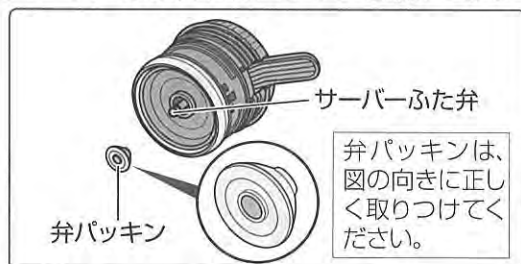
①ふたパッキンを取りはずす

②薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので、サーバーふた・ふたパッキンを洗う
③水洗いする

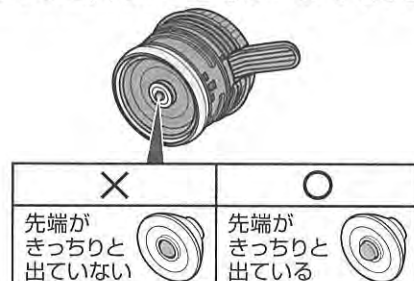
サーバーふたのコーヒー液通路部は、サーバーふた弁・レバーを押しながら、図のように洗い流す

④サーバーふたを数回振り、水分をよくふき乾燥させる
⑤ふたパッキンを元通りに取りつける

●サーバーふたのコーヒー液通路部は、詰まり防止のため毎回水で洗い流してください。
●十分に水切りをしてください。コーヒーを注ぐときに水滴が垂れることがあります。

●ふたパッキンが損傷していたり、白く変色してきた場合は、交換（有料）してください。

●ふたパッキン以外は取りはずしたり分解したりしないでください。
誤って部品がはずれた場合は、下記の通りに正しく取りつけてください。

①サーバーふた弁にバネを通したあと、サーバーふたの穴に入れる

②サーバーふた弁に弁パッキンを取りつける

●弁パッキンは、サーバーふた弁の先端がきっちりと出るように取りつけてください。

×	○
先端がきっちりと出ていない	先端がきっちりと出ている

湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が製品内部の水管などに付着します。これは「湯アカ」といわれているものです。
湯アカが付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーのドリップ量が少なくなったり、本体のすき間から湯が漏れることがあります。

●水質により、湯アカのつき具合はかわります。
ミネラル分の多い水質の地域やミネラルウォーターなどをご使用の場合は、湯アカがつきやすくなります。
●クエン酸洗浄は約3ヵ月に1回が目安です。

湯アカは次の方法で取り除いてください。

クエン酸洗浄のしかた

●洗浄の前に必ず浄水カートリッジケースセットをはずしてください。
浄水カートリッジをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。

●浄水カートリッジケースセットを取りつけたままクエン酸洗浄をしたときは、水で洗い流してください。（クエン酸のにおいをとるため）

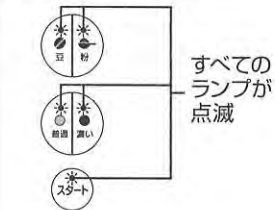
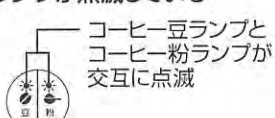
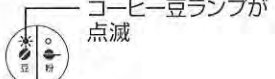
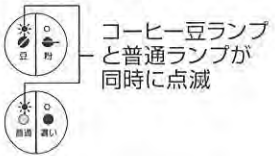
●洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。（別売品→P.22）
クエン酸は食品添加物として使用されており、食品衛生上無害ですが食べないでください。

①コップに小さじ1.5杯（約6g）のクエン酸を入れて、ぬるま湯で溶かし、水タンク目盛の「コーヒーカップ 4」まで入れる
②水タンク内の溶液をよくかき混ぜる
③ステンレスサーバー（サーバーふたセットが取りつけられた状態）・フィルターケースセット・ミルケース・スイングバスケットを本体に取りつけて「入/切」キーを押し「粉」キーを選択し、「スタート」キーを押す
④クエン酸溶液が水タンク目盛の「コーヒーカップ 1」まで減ったときに「入/切」キーを押す
⑤ドリップされたクエン酸溶液を別の容器に移して冷まし、中に混ざっている湯アカ（白い結晶など）を除く
⑥⑤のクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、③～⑤を繰り返す
⑦本体が十分冷めてから、ステンレスサーバー・フィルターケース・水タンク内のクエン酸溶液を捨て、すすいだあと、クエン酸のにおいをとるために水だけで数回ドリップする

●湯の出が悪い場合は再度クエン酸洗浄をしてください。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、
次の点をお調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直しかた
「入/切」キーを押しても通電しない	差込みプラグがはずれていませんか?	差込みプラグを差し込んでください。
湯が出ない 湯が出にくい	水タンクに水が入っていますか?	水タンクに水を入れてください。(→P.11)
	水タンクは正しく取りつけられていますか?	水タンクを正しく取りつけてください(→P.12)
	製品内部の水管などに湯アカが付着すると湯の出が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。(→P.19)	
コーヒーがぬるい	コーヒーの量が少ないときや室温が低いときは、コーヒーの温度が低くなります。	
「スタート」キーを押してもブザーが鳴りスタートできない	スイングバスケットまたはミルケースふたが確実に閉まっていますか?	スイングバスケットまたはミルケースふたを確実に閉めてください。(→P.9〜P.10)
	フィルターケースは正しく取りつけられていますか?	フィルターケースを正しく取りつけてください。(→P.6)
	フィルターケースふたは取りつけられていますか?	フィルターケースふたを取りつけてください。(→P.6)
	ドリップ完了後、すぐに連続してコーヒーを作っていませんか?	本体が熱いので、5分以上冷ましてからコーヒーを作ってください。 ドリップ完了後、約5分間は連続運転できないようになっています。
ブザーが鳴り、ランプが点滅している すべてのランプが点滅	水タンクに水を入れていますか?	①「入/切」キーを押す。 ②本体を冷ますため、5分以上待つ。 ③水タンクに水を入れ、確実に取りつける。(→P.11〜P.12) ④「使い方6」からやり直す。(→P.14) 上記の処置で直らないときは、差込みプラグを抜き、10秒以上たってから再度操作してください。 (それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。)
	水タンクを確実に取りつけていますか?	
コーヒー粉がフィルターケースからあふれる	ミルケースフィルターは正しく取りつけられていますか?	ミルケースフィルターを正しく取りつけてください。(→P.7)
コーヒーがペーパーフィルターやフィルターケースからあふれる	ペーパーフィルターは正しく取りつけられていますか?	ペーパーフィルターを正しく取りつけてください。(→P.9)
	計量スプーン3 3/4杯を超える量のコーヒー豆(粉)を入れていませんか?	計量スプーン3 3/4杯以下で入れてください。(→P.10)
	しずくもれ防止弁にコーヒー粉がつまっていませんか?	フィルターケースをお手入れしてください。(→P.17)
	ミルケースフィルターは正しく取りつけられていますか?	ミルケースフィルターを正しく取りつけてください。(→P.7)
ドリップ時にサーバーふたセットからあふれる	サーバーふたセットにコーヒー粉がつまっていませんか?	サーバーふたセットをお手入れしてください。(→P.18)
カップ・マグボトルからあふれる	カップ・マグボトルの容量以上の水を水タンクに入れていませんか?	水タンクにはカップ・マグボトルの容量以下の水を入れてください。(→P.11)
湯の出が悪く、ドリップのスピードが遅い	製品内部の水管などに湯アカが付着すると湯の出が悪くなります。	クエン酸でお手入れしてください。(→P.19)

こんなときは	お調べいただくこと	直しかた
コーヒー豆がミルケースに残る	ミルケースふたの内側・ミルケース・ミルケースフィルターがぬれたままでコーヒー豆を入れていませんか?	①ミルケースを取りはずし、コーヒー豆を取り出す。 ②ミルケースふたの内側やミルケース・ミルケースフィルターの水分をふき取る。 ③新しいコーヒー豆でやり直す。
	計量スプーン3 3/4杯(約30g)を超える量のコーヒー豆を入れていませんか?	計量スプーン3 3/4杯以下で入れてください。(→P.10)
	コーヒー豆の焙煎度合いによってはミルケースにコーヒー豆が残る場合があります。	
運転中に「ピー」とブザーが鳴り、運転が止まった	スイングバスケットやミルケースふたを途中で開けていませんか?	①ミルケースにコーヒー豆が残っているかどうか確認する。 ②スイングバスケットまたはミルケースふたを閉める。 ③「入/切」キーを押す。 コーヒー豆が残っている場合： 「豆」キーを押す。 コーヒー豆が残っていない場合： 「粉」キーを押す。
運転中にブザーが鳴り、ランプが点滅している コーヒー豆ランプと普通ランプが同時に点滅	コーヒー豆を入れすぎていませんか?	ミルケースを取りはずし、コーヒー豆を取り出す。 お手入れをしたあと新しいコーヒー豆でやり直す。(→P.16)
	湿ったコーヒー豆を入れていませんか?	
運転中にブザーが鳴り、ランプが点滅している コーヒー豆ランプと濃いランプが同時に点滅	ミルケースフィルターや、刃にコーヒー豆やコーヒー粉が付着したままコーヒー豆を挽いていませんか? (コーヒー豆を挽けずにミルが回り続けると強制的に止まります。)	ミルケースを取りはずし、コーヒー豆を取り出す。 お手入れをしたあと新しいコーヒー豆でやり直す。(→P.16)
運転中にブザーが鳴り、ランプが点滅している コーヒー豆ランプが点滅	コーヒー豆を入れ忘れていませんか?	①「入/切」キーを押す。 ②コーヒー豆を入れ、「使い方6」からやり直す。(→P.14)
	コーヒー粉を使ったときに、「豆」キーを押していませんか?	①「入/切」キーを押す。 ②「使い方6-②」からやり直す。(→P.14)
運転中にブザーが鳴り、ランプが点滅している コーヒー豆ランプとコーヒー粉ランプが交互に点滅	金属受皿にコーヒーが漏れていませんか?	差込みプラグを抜き、金属受皿のコーヒーを捨ててください。(→P.16) お手入れしたあと、再度操作してください。

部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入はP.23参照)

	部品名	部品番号
消耗品	浄水カートリッジ	718849-00
部 品	ステンレスサーバー(サーバーふたセット付き)	SERECNA-BA
	サーバーふたセット	BG735821A-01
	計量スプーン	BG735140L-01
	ミルケースブラシ	718336-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット(30g×4包入り)	CD-KB03-J
	ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J

仕様

型 名	EC-NA40
電 源	交流100V 50/60Hz
消 費 電 力	750W
容 量	最大使用水量 540mL
ミル定格時間	60秒
方 式	ドリップ式
コードの長さ	1.3m (ゴムコード)
外形寸法(約cm)	幅24×奥行25×高さ37.5
質 量	約4.5kg

●外形寸法はステンレスサーバーのとっ手を除いた寸法です。
●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.
此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。
另亦无法对此提供售后维修服务。
此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。
另亦無法對此提供售後維修服務。
본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、浄水カートリッジは消耗品のため、保証期間内でも有料です。

3. 修理を依頼されるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-345135**
※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00〜17:00 月曜日〜金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・TEL (06)6356-2451(有料)
●FAXでのお問い合わせ・・・・・・・・FAX (06)6356-6143(有料)
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ http://www.zojirushi-de-shopping.com/